指定管理業務評価結果書

1　施設の名称等

(1) 公の施設の名称	黒木キャンプ場
(2) 指定管理者	所在地　　津山市山下97－1 名　称　　公益社団法人　津山市観光協会 代表者　　会長　　松岡　裕司
(3) 公の施設の所管部署	農林部　農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2　施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	利用件数	1，688件	（前年度　1，140件）
	バンガロー	利用件数	782件	（前年度　619件）
		利用延人数	15，460人	（前年度　12，623人）
(2) 事業の内容	黒木キャンプ場の施設等の利用許可・運営・管理			

3　収支の状況

(1) 収入 （指定管理者の収入）	総　額	21，437千円	（前年度　23，077千円）
	施設利用料金	12，976千円	
	指定管理料	4，573千円	
	自主事業	3，528千円	
	その他	360千円	
(2) 支出 （指定管理者の支出）	総　額	21，437千円	（前年度23，077千円）
	人件費	11，232千円	
	光熱水費	2，830千円	
	修繕・消耗品費等	2，902千円	
	委託料	1，505千円	
	負担金・公租公課	1，035千円	
	原材料費	1，167千円	
	備品購入費	50千円	
	その他	716千円	

4　総合評価結果

(1)アンケート調査等の概要	○　利用者にアンケート用紙を渡して、意見・要望を記入してもらっており、概ね良好な意見であった。
(2)指定管理者の自己評価	○　昨年同様、コロナウイルス感染防止の対策を行いながら運営に努め利用者数は上昇した。 ○　第1・第2キャンプ場はテントサイトの一部を車乗り入れ可とし、稼働率が高い。第3キャンプ場は荷物運搬のみ車乗入れのみ許可し、好評である。 ○　インターネット・フェイスブック等で木工教室、特産品販売の充実及び鱒の掴み取りの再開を発信した。また、キャンプ場周辺情報のPR活動を強化し、黒木キャンプ場の周知・集客を図った。
(3)市の評価	○　令和2年度に立上げたフェイスブックのアクセス数が増え、定期的に情報を更新しながらホームページで広報活動をし利用者の注目を得ている。施設予約を24時間ネット受付できるよう改善している。自主事業として実施している冬期の第3キャンプ場の利用客へ、キャンプ場周辺の天候や注意喚起を行う等、現地のみならず往復路の配慮にも活用され評価できる。 運営に関しては天候に左右されることも多いが、施設整備に務め、さらなる集客を目指し、地域の魅力を活かした自主事業を実施されたい。